

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

2637号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

菜の花と青空



もくじ

政 策	フオーラム	情 報	情 報
-----	-------	-----	-----

市町村の参加促進へ負担金を軽減・免除【解説】
 取り戻せ助け合う社会 地域の協働を通してII岡山県和気町
 町村Navi
 一国二制度で活性化するオランダ諸島

自治体国際化協会ロンドン事務所長 務台 俊介 (10)

写真募集

本誌表紙に掲載の写真を募集しています。
 四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付して下さい)
 なお、採否は当方に一任願います。
 送り先：全国町村会・広報部

閑話

「4・2・3」

九州大学大学院法学研究院教授 木佐 茂男

中島みゆきのアルバム「わたしの子供
 になりなさい」に収録されている最後の
 曲のタイトルである。

曲名の「4・2・3」は、ペルーの
 フジモリ大統領が人質救出のために武力
 を行使した日付を日本時間で表現したも
 のという。それは1997年4月23日
 だった。中島は、死亡した現地の軍人の
 生き様や、彼らの家族にはまったく思い
 を馳せることなく、日本人が救われ、
 人質が手を振り、元氣そうで笑顔です、
 という嬉々としたリポーターの興奮した
 声の連発を聞き、「見知らぬ日本人の無
 事を喜ぶ心のある人たちが、何故救け出
 してくれた見知らぬ人には心を払うこと
 がないのだろうか」と問う。

オリンピックを目前にして、日本人は
 チベット問題、聖火リレーに関心をもち
 ているかにもえる。ただ、背景にあるのは
 農薬汚染食品問題などから来るある種の
 予断も混じったショー見物的要素がない、
 と言い切れるかどうか。自国でも人権侵
 害問題は跡を絶たないのに、多々ある問
 題に同じ視線を注いでいるのだろうか。

一流コラムニストが「壊死する日本」
 というタイトルの論稿を書き、新聞広告
 では同一日に2大週刊誌が「日本政府の
 脳死」を特集し、今や、政府機能のマヒ
 という程度の言葉には誰も驚かなくなっ
 た。他国人の人権に政府が筋の通った関
 心を持ってないのは当然かもしれない。

国内でも貧富の格差拡大は、私自身、
 弁護士業務を通じて、より実感するよう
 になった。他国内の人権問題には敏感な
 ようであっても、自国内の、それどころ
 が自分の人権問題さえ、口にできないよ
 うな雰囲気もひよっとして.....

中島は歌い続ける。「平和を望むと言
 いながらも日本と名の付いていないもの
 にならばいくらだって冷たくなれるのだ
 ろう」。「私の中ではこの国への怖れが
 黒い炎を噴きあげはじめた.....この国
 は危ない。何度でも同じあやまちを繰り返
 すだろ。平和を望むと言いつつながら
 も」。人の命の問題でも、日本人だけが、
 自分だけが救われればいい、というもの
 ではないはずである。